

—企業理念—  
地域社会に貢献し、  
地域に求められる企業を目指す  
—社 是—  
**儲・質・和**  
下期・第2号(平成23年2月発行)

平成22年度 安全基本方針  
安全スローガン

『一人一人の安全意識の向上を計り 災害を目指そう!』《KY活動の推進》  
『一人一人の声かけで 安全・安心 事故はなし』

Vol.2

# HB だより

## 社是『儲・質・和』

専務取締役 新谷 稔



この機会に、説明をさせて頂きます。まず、『儲』ですが、これは企業である限り利潤の追求は使命と思っています。しかし、儲け方が肝心であります。一時的で限定的な不當・不適格な操作による儲けではなく、持続的に公正な利潤の追求ができる環境づくりを目指していきます。「儲」とは信じる・者と書いて儲けるという字になります。具体的には漢字の表すとおり、お客様や社員と会社が信じあえる者の信頼関係を構築し、持続可能な関係を築くことです。

この機会に、説明をさせて頂きます。まず、『儲』ですが、これは企業である限り利潤の追求は使命と思っています。ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、創立五十周年の折に当社は、新しい**社是『儲・質・和』**を構築いたしました。

三番目は、『和』ですが、これはスバル、チームワークです。ハウス美装工業が一つのチームとなって、厳しい環境の中で打ち勝ついくことを目指しています。一人でできることはたかが知れていますが、個人がチームとなって立ち向かっていけば、可能性は無限大かも知れません。各々の持ち場で、目的を共有してがんばりましょう。

以上のことを、ハウス美装工業株式会社の哲学として邁進していきたいと思っております。今後ともご協力の程、よろしくお願ひいたします。

## ハウス美装工業株式会社

### 《ビジョン》

地域社会に貢献し、地域に求められる企業を目指す。

### 《社是》

<b>儲</b>	(環境づくり) お客様や社員と信頼し合える環境をつくる。
<b>質</b>	(顧客満足) 仕事の質の向上を計り、顧客の満足度を高める。
<b>和</b>	(チームワークづくり) チームワークを構築し、最大限の成果を生み出す。

## 各部門長 新年の抱負

営業部 山田英之部長

営業部一同、売上を上げようと努力しております。

業務部 市原克美部長

作業所巡回を行い、従業員の品質強化を図る!

販売管理部 山下渥弘部長

システム化以外での、事務の効率化を図る!

品質管理部 串田 恵部長

集合研修も三年目を迎え、全従事者がレベル向上の為、分かりやすい研修を行ないたい。

外販事業部 荒井俊之マネージャー

『心とカラダにおいしいもんを』をモットーに一丸となって取り組みます!



## 謝恩会の開催

平成二十二年十一月二十二日

(月)、午後七時より高松国際ホテルにてハウス美装工業㈱の謝恩会を開催しました。



株式会社 万成社 殿  
有限公司 サニタリーライフ 殿  
感謝状 贈呈

当社では、毎年、繁忙期前の十一月に謝恩会を開催し、協力会社や取引先等の常々当社の仕事に携わつておられる方々にお越しいただき、親睦を深めるために実施しています。今回は一〇〇名を越す程の出席者があります。

ご来賓の挨拶や協力企業への感謝状の贈呈などを行い、これから忙しくなる年末に向けて安全第一の作業を心掛けるようにお願いしました。その後、食事をとりながらの歓談、ビンゴゲームなどで楽しい時間を過ごしていただきました。

## 新年会



一月四日(火)午後二時から、香川県社会福祉総合センターでハウス美装工業㈱、(有)屋島クリーンサービスなどに安全衛生協力会の新年会が開催されました。

まず初めに、社長より年頭の挨拶があり、引き続き、永年勤続者の表彰が行なわれました。続いて、ご来賓の祝辞、平成二十二年の事業の進捗状況報告・平成二十三年の事業計画の発表が行なわれました。



## 平成二十三年 仕事始め 安全祈願祭

永年勤続表彰者は次のとおりです

(敬称略)

ハウス美装工業㈱

三〇年 表彰

木太秀子 樋上雅文

二十五年 表彰

水野裕子 大倉健治

岡本秀雄

一〇年 表彰

横井春子 松下サキ子

十五年 表彰

三井美津江 増田安子

荒井俊之

安藤まさる

濱浦敏治 山口研二

坂田多美子

本田敏子 藤井信子

上乃満恵

三谷妙子 土井節子

一〇年 表彰

福田マサエ

三枝富美子 青木重徳

山本富美子 高橋静子

西岡容子 北嶋久子

十五年 表彰

小林義照

吉本悦子

上野 明 塚本紀雄

伊藤裕子 香西芙美

萩野テル子 北嶋久子

小西八重子 安田良雄

次号 V.O.I. 3

平成二十三年八月 発行予定

## 職場の教養

一本の挨拶

普段の自分自身を振り返って、私たちは「家庭でも職場でも、礼儀正しい挨拶がしっかりとできている」といえるでしょうか。挨拶は「おはようございます」「こんにちは」「いらっしゃいます」「ありがとうございます」といった様々なです。内容や言葉遣いは違つても、大切なのは心を込めて先手で行なうことです。

挨拶の「挨」の字には押す、「拶」の字には迫るという意味があり、押しながら前に進むことを意味します。つまり、面倒に感じられるような挨拶は、本当の挨拶ではないのです。

どんなに忙しくても、挨拶は数秒でできます。

それだけに、その時その場の心の込め方次第では、自身の人間性や対人関係の幅を豊に広げていく貴重な鍵ともなるのです。挨拶は相手との関係を豊かにする「入り口」です。その扉を開ける際には、心を込めて勢いよく押し迫つてみましょう。

編集後記

年

が開けて早二ヶ月が過ぎましたが、

新年のスタートは、やはり初詣でしょうね。

古来より我が国では、人生的節目や転換期には神様に祈願と感謝が繰り返し行なわれてきました。当社もご多分に漏れず、二〇一年がよい一年になるよう成田山聖代寺にお参りに行きました。これで、商売繁盛、無事故無災害等が達成できる訳ではありませんが、少しでもよくなればお安い御用でしょう。

社員みんなで、今年一年がよい年になるようがんばりましょう。